



THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

10月1日

第213号(2023年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け取れません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所
一般社団法人 中小企業組合総合研究所
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F
電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588
URL http://www.kumiaisouken.com/

ストライキは憲法で保障された労働者の権利

「ごとう・西武百貨店労働組合がストライキ決行

百貨店「ごとう・西武」の米投資ファンドへの売却計画に反発する西武池袋本店(東京都豊島区)従業員労働組合が8月31日、ストライキを行なった。大規模百貨店では、職員の賃金闘争が折り合わなかった1962年の阪神百貨店以来、61年ぶりとなるストライキとなった。



ごとう・西武の売却決議の強行に反対し、デモ行進する労働組合の組合員ら

ライキ権を活用して打 決裂。ストライキ権を行 開の道を図ったが交渉は 使用するに至った。

ストライキは労働者の権利

ストライキとは労働者 が賃金や労働条件などの 要求を通すため、団結し て時的に働く事を拒否 する行為だ。力の強い経 営側と対等に交渉するた めに、憲法で保障された 権利である。ごとう・西武 のストライキを伝えた報 道でも、「若い人はストラ イキを初めて見たといふ 人もいるかもしれませぬ けれども、労働者に認め られたれっきとした権利 なので、行使してもなんら 問題はありません」とコ メントしていた。

ただ、例えば交通機関 で実施すれば人々を足止 賛成を得ていた。

企業の枠を越えた「連帯」表明

経営側にストライキ実 施を通知した8月28日、 記者会見には高島屋や三 越伊勢丹などの百貨 店の労働組合も同席す る異例の展開となった。

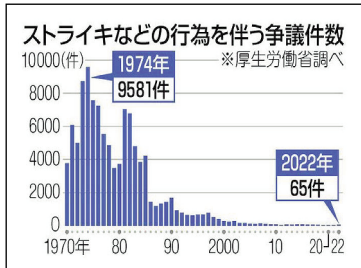
これまでに業界内の13組 合が支援を表明した。 三越伊勢丹グループ労働 組合も加わり、合同でデ モやピラ配りを行なった。

産業別労働組合は世界基準

欧米では産業別の労働 組合が力を持っている。 労働組合は産業全体の労 働者を代表しており、企 業別の組織は支部といっ た位置付けだ。労働条件の ほとんどが産業別全国協 約で決まっており、職種や 勤続年数などによって労 働者をランク分けして仕 事別の条件を決めるのが 共通した特徴だ。欧州連 合(EU)はこれを根拠に、 雇用身分による差別を禁

なぜ日本でストライキが少ないのか

日本でも憲法28条で 「勤労者の団結権」は保 障され、労使で主張が一致 しない場合の争議行為と して、労働組合法や労働 関係調整法でストライキ のルールが定められている。 厚生労働省の労働争議 統計調査によると、ストラ イキなど争議行為を伴う 争議の件数半日以上は 1974年の9581件 をピークに減少し、近年 は100件を割り込み、 昨年は65件にとどまった。 日本でストライキが少 ないのは、産業別の労働 組合が一般的な欧米に比



民的な支持や、ストライ キに対する共感も得られ にくい面がある。そのため やる気が削がれ、労働組 合の組織率が下がり、労 働争議が「自分とは関係 ない」と見られるようになっ た。

さらに、労働組合は労 働者全体の底上げのため にあるべきだが、日本では ほとんど企業の正社員 のための活動となり、労働 者の4割を占める契約社 員やパート、派遣労働者 などの非正規労働者は分 断され、置き去りにされ ている。労働条件の改善 には企業を超えた社会的 圧力や共感が重要だ。そ れらを生み出す仕組みと してストライキを考える 必要がある。ストライキ ができず、労働環境の向上 が滞れば日本の将来はな い。韓国の労働者のように、 企業別組合から産業別 組合への転換が必要だ。 当事者以外にも「なぜ ストライキなのか」を廣 く知ってもらうためにも 今回の件には注目してほ しい。それは労働者全体 にかかわる問題でもある からだ。

四季折々 風化させない

森友学園に関する公 文書の改ざんと破 棄を指示されたことを 苦に、うつ病を発症し、 赤木俊夫さんは自ら命 を絶しました。

妻の雅子さんは、改ざ んを指示したとさ れる佐川元理財局長(財 務省は調査報告書で同 省理財局長だった佐川宣 寿元国税庁長官が改ざ んの方向性を決定付け たと指摘している)に損 害賠償訴訟をおこし、事 実を明らかにするため、 佐川元理財局長と財務 省の職員らの尋問を求 めましたが、2022年 11月の裁判で大阪地裁は 「国家賠償法上、公務員 が他人に損害を与えた 場合は、国が補償すべき であり、佐川被告個人は 損害賠償の責任を負わ ない」と訴えを棄却し、 尋問請求も認められな かった。

雅子さんは、速やかに 控訴しましたが、本 年9月13日に行なわれた 大阪高裁で黒野功久裁 判長は「尋問の必要なし」とし即日結審しました。

赤木さんは文書改ざ んの経緯について記 録してまとめています(赤 木ファイル)が、近畿財務 局内部の事にしか過ぎ ず、財務省本省の幹部、 キャリア官僚の誰が関わ っているのか、それ以上の 立場の人の関与があった かどうかも分かっていま せん。

判決は12月19日に言 明されるそうですが、この国家的詐欺事 件を時間と共に風化さ せないよう事実が明らか になるまで、注目し続け たいと思います。(稲葉恋)

西武・ごとうストライキの背景

2022年11月に親会 社のセブン&アイ・ホール デイングス(HD)が米投 資会社への売却方針を発 表した後、投資会社と連 携する家電量販店大手 のヨドバシHDが西武池 袋本店に大規模に出店 する計画が報じられた。 だが、組合には何の情報 ももたらされなかった。 組合は日ごろから賃金 などの労働条件について、 ごとう・西武と交渉して

いる。ごとう・西武はセブ ン&アイの100%子会 社だ。労働組合は団体交 渉で売却後の店舗計画 を会社側に尋ねたが具 体的な説明はなかったと いう。組合はセブン&アイ に団体交渉を申し込ん だが、セブン側は「使用者 ではないので団体交渉に は応じない」との立場で 応じず、交渉内容も明ら かにしなかった。 そこで労働組合はスト

「ごとうという時にこそ、ごとう・西武を孤立させない」、 記者会見で全高島屋労 働組合連合会の西嶋秀 樹会長はそう語った。ご とう・西武労働組合には、

「ごとうという時にこそ、ごとう・西武を孤立させない」、 記者会見で全高島屋労 働組合連合会の西嶋秀 樹会長はそう語った。ご とう・西武労働組合には、

特別寄稿 競争と分断の共進化から連帯と協働の共進化へ

―関西生コンの社会闘争が切り開いた地平①―

大阪労働学校・アソシエ学長 斉藤日出治

論者の斉藤日出治氏は、2016年9月16日、協同会館アソシエで行なわれた、組合総研主催の「第13回 職員研修」において、「現在の危機をどう読むか、それにどう反撃するか―関西生コンが切り開いた地平」と題する講演を行なった。その後、この講演を骨子にして文章化し『大阪産業大学経済論集』第18巻第3号(2017年6月)に投稿した。関西生コンの労働運動に對する第三次の大弾圧が始まる前での考察であるが、この労働運動を日本資本主義の戦後の歴史的転換を踏まえて、この転換に対応する社会闘争として位置付け提起した本論の意義は現在もなお有効だと考える。ここに掲載をして読者の議論に供したい。

はじめに

20世紀末から急進展したグローバル化は深刻な危機に直面している。グローバリゼーションの反響を呼び起した。イギリスのEU格差、地域格差を拡大し、中産階級を崩壊させ、大量の移民・難民を創出し、宗教紛争・民族紛争



多くの参加者が集まり開催された第13回 職員研修(2016年)

を激化させることによる。この反動は、グローバル化の隘路に直面した諸国の隘路を物語る。この反動は、グローバル化の隘路を主権国家の強化によって打開しようとする。流入する移民・難民を排除し厳しく取り締まる、自国民の雇用確保を優先する、といった排外主義的な政策が強化される。

日本も同じ流れに掉さしている。経済の自由主義的進展がもたらした雇用の不安定化、貧困の増大、所得格差と資産格差の拡大は、社会の監視の強化、治安の強化、そして国家の軍事化と排外主義への動きを強化し、立憲主義の危機、神権的国体論を触発している。

新自由主義とは社会を市場の競争原理に委ねるシステムであり国家の非介入を原則とするにもかかわらず、新自由主義の共進化という概念を援用

一 市民社会の共進化 ―D・ハーヴェイ

あらゆる社会領域への市場競争の浸透が社会生活を脅かし格差を拡大する動き、国家が経済に從属すると同時に軍事化傾向を強め権威主義化する動き、そして社会における排外主義、社会的弱者に対する憎悪、ヘイトスピーチが高まる動き、これらがたがいに反響しあいつつ社会の破局的な危機を引き起こしている現代世界をどうようにとらえたらよいのだろうか。

本論では、この社会危機を認識する方法論的な手がかりとして、デーヴィッド・ハーヴェイ『資本の「謎」』(森田誠也ほか訳、作品社、2010年)における市民社会の「共進化」という概念を援用

した。ハーヴェイは、「共進化」という概念をマルクスの『資本論』から学んだ、と言う。マルクスは機械制大工業を論じた章で、機械という技術が社会の諸領域に及ぼす作用を、ダーウィンの進化論の方法を用いて読み解く。

マルクスはそこで、機械という技術が、人間の自然に対するかわりかた、人間の生活諸関係の組織のしかた、世界を表象する精神的観念のあり

かた、労働と資本の階級関係のありかた、生産過程における労働者のありかた、ジェンダーや家族のありかたに、さまざまなかたちで作用を及ぼしつつ、それらのさまざまな領域がたがいに共進化して、資本主義の総姿態をかたちづくっていくことに注目する。

原動機―伝導機―作業機の自律したシステムとしての機械制大工業の出現は、労働者を、道具を使いこなす固有の熟練と技能を備えた職人の地位から機械のたんなる付属品の地位へと押し下げた。だが、やがて機械を操作する労働者の配置転換を促進するために工場立法が制定され、労働者の教育を義務づける。労働者の教育が広がること

によって、固定した分業関係に縛られていた個人は、全面的に発達した個人へと転換する可能性を切り開く。女性や児童の労働への参加は、子供の教育のありかた、および家庭における性別役割分担のありかたにも大きな影響をあたえる。

ここでマルクスは相対的剰余価値生産の方法として機械制大工業をあつかっているのだが、機械の出現とともに、精神的諸観念、社会的諸関係、日常生活の形態、社会的諸制度、技術などの多様な活動領域がたがいに共進化

する動態をつぶさに観察する。これらの活動領域は、「資本主義の歴史の進化の中でさまざまに共進化する。どれか一領域が他の諸領域を支配するわけではない。……これらの領域のいずれも、絶え間なく更新され変容する傾向がある。領域間の関係は因果関係ではなく、資本の流通と蓄積を通じて弁証法的な絡み合いである。したがって、全体としての編制のあり方が社会生態学的総体を構成する」(D・ハーヴェイ「2010」,邦訳164~165頁)。

共進化とは、生物学の用語で、複数の生物がたがいに作用を及ぼし合いながら進化を遂げていく過程のことを言う。ハーヴェイは、共進化においてそれぞれの活動領域が社会全体のたんなる部分として存在するのではなく、それぞれの活動領域が独立して運動し、その相互作用が総体をかたちづくることを強調する。それらの活動領域は自立して運動するだけでなく、それらの相互作用から影響を受け、その共進化を通してみずからの活動領域をかたちづくる。市民社会の共進化の動態の運動が、その結果として資本主義のかくある様態を生み出すのである。

新自由主義的な資本主義の様態は、市民社会の共進化が特定のベクトルに向かつて作動した結果として創出された。今日の市民社会は、国家に對抗する市民的公共性の領域でもなければ、市場経済から自立した市民の共同生活圏でもない。それよりもむしろ、市民社会は市場取引の諸関係に還元されるか、あるいは市場取引の諸関係を補完する領域へと還元されつつある。地域の自治組織が衰退し行政によって指導されるようになり、福祉・教育・医療などの公共的事業がビジネス化し、NPOやNGOの非営利・非政府組織も企業の市

場取引や政府の事業を補完する役割を担うだけのものになりつつある。市民社会のこのようなベクトルが共進化の作用を引き起こし、社会生活のあらゆる領域を市場取引の諸関係に還元し、国家の軍事化や権威主義化を推進し、社会諸関係の分断とひとびとの孤立化をおしすすめ、ひとびとの敵対関係を増幅させることになる。

このような特定の方向に向けて共進化する市民社会の動態が、日本の今日における経済構造の転換、および国家の政策転換と密接に連動している。

戦後の日本における経済・政治・社会表象の共進化 ―企業主義的調整・日米妥協・「戦後」という社会表象

日本の新自由主義的共進化の動態を考察する前に、戦後日本において確立された経済―国家―市民社会の共進化の構造について見ておきたい。敗

戦後の日本社会は、経済と国家の相互補完的で独自の制度的構造によって編成された。



【論者紹介】 斉藤日出治(さいとうひではる)。1945年生。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。専攻：社会経済学、現代思想。経済学博士。大阪産業大学経済学部教授を経て、大阪労働学校・アソシエ学長に就任。

1. 企業主義的調整と企業社会

戦後日本は、1950年代後半の戦後復興、1960-1970年代前半の高度成長、1970年代後半から1980年代の輸出主導型成長を通じて経済成長を追求し、「経済大国」化への道を突き進んできた。

この戦後日本資本主義の成長経済を支えたのが、「企業社会」と呼ばれる「会社本位主義」と呼ばれる日本に固有な労使間妥協と企業間関係の調整の様式であった。まず、大企業の男性正社員を中心に経営者と労働組合のあいだに結ばれた特殊な妥協、それは経営側が労働者に長期の雇用を保障し、その見返りとして労働側に企業に対する無限の忠誠を求める、という雇用をめぐる労使間妥協であった。終身雇用・年功賃金・企業別組合という日本的経営のセットは、この労使間妥協を維持する制度的仕組みであった。この妥協によって、企業は不足する若年労働力を企業につなぎとめ、働きながら作業現場で技能を身につけるOJT(On the Job Training)という日本に固有な技能教育の慣行を創り出す。また、社員住宅、健康管理、社員旅行、保養所の整備、文化・スポーツ・福祉サービスの提供など手厚い企業内福

利厚生によって従業員の企業との一体化を強化した。このような労働者の企業への全面的な包摂と労働者の勤労意欲の向上を通して、日本企業の生産性と国際競争力の維持が図られた(いうまでもなく、このような労使間妥協のありかたが、長時間労働、過労死、単身赴任、配置転換といった労働者の重大な人権侵害を引き起こしてきた)。

この労使間妥協が長期的に維持されるためには、企業が持続的に成長する長期的な展望が見通せなければならぬ。この展望を保障するものとして、日本資本主義に固有な企業間関係が築き上げられた。メインバンク制度と株の相互持ち合いによる(系列)と呼ばれる企業集団の組織化がそれである。

メインバンク制度とは、銀行が取引先の企業に対して資金を供与すると同時に、企業の投資を企画し管理し監視して経営の保護を図る、企業はその見返りとして銀行に収益機会を提供するという銀行-企業間の妥協である。また、企業は取引関係にある企業同士で株を相互に持ち合うことにより、企業同士の安定したつながりを築き、外国資本からの買収を防止す

2. 日米間の制度的妥協-天皇制による国体の護持と軍事権の譲渡

このような金融妥協、企業間妥協によって、企業の長期的な経営が保障され、この妥協が企業内部の労使間妥協を支え、この重層的な制度的妥協によって、日本企業は正規労働者の長期雇用を保障すると同時に、企業の国内外の競争力を維持・強化した。これが戦

る。このような金融妥協、企業間妥協によって、企業の長期的な経営が保障され、この妥協が企業内部の労使間妥協を支え、この重層的な制度的妥協によって、日本企業は正規労働者の長期雇用を保障すると同時に、企業の国内外の競争力を維持・強化した。これが戦

だが、戦後日本の経済を支えた労使間妥協、銀行-企業間の妥協、企業間妥協という重層的な制度構造は、敗戦後の日本の権力構造をかたちづくる独自の国家間妥協の制度を基盤にし、その上に存立していた。

敗戦時に、ポツダム宣言(※)を受諾し無条件降伏した日本の指導層は、みずからの権力崩壊の危機に直面した。国内の左翼勢力が共産主義革命を起こす脅威と連日の日本進駐による外部からの共産主義革命の脅威がそれである。日本の指導層はこの脅威に対処するために米軍の駐留を積極的に受容する。そして、その受容の代価として、皇位継承権を存続させ国体を護持することを占領軍に承認させた。占領軍にとっても、天皇制は日本の統治を進めるうえで必要なものであった。その

後日本の経済成長を支えた固有な制度の重層的構造であった(戦後日本資本主義における労使間妥協、メインバンク制度、企業間妥協といった諸制度の補完関係についての分析は、山田鋭夫「さまざまな資本主義」藤原書店、2008年、を参照された)。

米国の軍事占領は1951年の日本主権回復後も継続される。1951年9月8日にサンフランシスコ講和条約が締結され、そのわずか5時間後に日米安保条約が調印される。日本はその後現在にいたるまで米国の軍隊の駐留を容認した。日本の司法権力は、日米安保条約を日本国憲法や国内法よりも上位に位置づけ、米軍基地の治外法権を承認し続けている。この米国への軍事的従属は、沖縄に米軍基地の大半を押しつけることにより日本と沖縄との



サンフランシスコ講和条約に調印する吉田茂首相全権。

の植民地主義的な関係を戦前と同じようにして継続させた。日本は米国内部の軍事従属と引き替えに、天皇の戦争責任を免責し、天皇を軸とした国内の社会統合をうちたてる。こうして、「天皇+米軍」(矢部宏治「2015」)という戦後日本の権力構造が制度化されることになる。

米国は日本への基地建設によって、戦後アジアの極東戦略をうちたてることのできた。それに対して、日本はこの米軍の核の傘の下で、軍事的負担を免れ、経済成長に邁進して、国力の回復を図る。さらに、朝鮮戦争、ベトナム戦争といったアジアの軍事的緊張を「特需」景気として利用し、アジア民衆の苦難を踏み台にして自国の経済成長を推進する。

要するに、日本に固有な労使間妥協、企業間妥協、銀行-企業間の妥協は、天皇制と米軍の妥協的取引の制度化に支えられて存立していることがわかる。この日米間の制度的妥協を外交方針として示したのが、「吉田ドクトリン」であった。冷戦下で軍事的緊張が高まる中、米国は日本の全面的な武装解除の方針を転換して、日本に防衛費の増額と再軍備を求めるようになる。しかし吉田茂首相は日本国憲法の戦争放棄条項を楯にこの要

求を拒み、防衛費を削減し、米国の核戦略の傘の下で、貿易・技術革新を推進し経済成長への道を突き進む(吉田ドクトリンについては、加藤洋典「戦後入門」ちくま新書、2015年)が参考になる)。

日本に固有な労使間、企業間の制度的妥協の構造は、日本資本主義の欧米資本主義と対比される独自性をはらむものであるが、その構造が敗戦後の日本の独自の権力構造によって支えられているという認識は、とりわけ経済学のまなざしからは抜け落ちる。だが、矢部宏治「日本はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか」(集英社、2015年)が指摘するように、この権力構造は安保村、原子力村のような、政治家、財界、ジャーナリズム、研究者を巻き込んだ利権集団を組織し、戦後日本の経済と政治とイデオロギーの中核をなすようになる。日本の労使間妥協、企業間妥協の制度は、資本主義経済の骨格をなすと同時に、その構造を根底で支える権力構造を覆い隠すイデオロギー的な機能をも果たした。

この権力構造は、やがて1990年代以降の経済不況のなかで労使間妥協、企業間妥協の制度が動揺しはじめるとともに不安定化していく。

※ポツダム宣言...1945年7月26日、米英中3カ国政府首脳の名で日本に対して発せられた降伏勧告の宣言。宣言は13項目から成り、「軍国主義者の永久除去」連合国による日本の諸地点の占領、「本州、北海道、九州、四国および連合国が決定する諸小島への日本主権の制限」「日本軍隊の完全な武装解除」「戦争犯罪人の厳罰、民衆の確立、基本的人権の尊重」「前記諸目的達成後の占領軍の撤収」「即時無条件降伏の要求」など。日本政府は国体(天皇制)護持にこだわり拒否したが、8月14日に宣言を受諾、同年9月2日に調印し、第二次世界大戦は終結した。

生コン製造会社代表らを廃掃法違反で再逮捕 関生支部はなぜ沈黙を続けるのか

9月12日、和歌山県警察本部、生活環境課と御坊警察署は、産業廃棄物の運搬を未許可の運送会社に委託した疑いで、由良町のコンクリート製造会社の代表ら4人を、廃掃法(※)違反の疑いで再逮捕した。

再逮捕されたのは、和歌山県由良町に本社を置くコンクリート製造会社・株式会社セイシンの代表、丸山克也容疑者(和歌山県生コンクリート工業組合、和歌山県広域生コンクリート協同組合理事長)ら3人と、廃棄物の運搬を請け負った運送会社の役員1人のあわせて4人。

御坊警察署などの調べによると、丸山容疑者ら3人は共謀して、昨年7月から去年6月にかけて、生コンクリートを運んだミキサー車から出るコンクリートが混ざった汚泥(スラッジ)およそ341トンの運搬を、収集運搬業者の許可を受けていない運送会社に委託したなどとして廃掃法違反の疑いがもたれている。

4人のうち、丸山容疑者は、日高町にある工場敷地内に産業廃棄物を埋めたとして、廃掃法を違反したとして、昨年8月22日に逮捕されており、今回は委託基準違反での再逮捕となる。

関生つぶしの中心人物が、刑法に触れる行為を繰り返した人物であると、想像を絶する事である。彼を理事長に選んできた和歌山県生コンクリート工業組合と和歌山県広域生コンクリート協同組合の品位が問われるとともに、大阪広域生コンクリート協同組合の品位も問われている。

この事件を暴露しない労働組合は「悪を批判しないのは、悪に染まっているから」と言われるのではないか。

※「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」は廃棄物処理法、廃掃法と略される。



丸山氏が代表を務める(株)セイシン

問われる関生の姿勢

丸山氏は、関生支部破壊の先頭に立って、元暴力団員とともに暗躍した人物である。

また、この人物について大阪広域生コンクリート

ホロコーストを支えた大企業 マイナンバー・監視社会に「NO」を

ホロコーストを支えたパンチカード

政府はマイナンバーカード普及のために、マイナンバーなどカード取得を進めてきたが、思うように進まないために、今度は紙の保険証廃止をちらつかせ、カードを普及させようとしている。

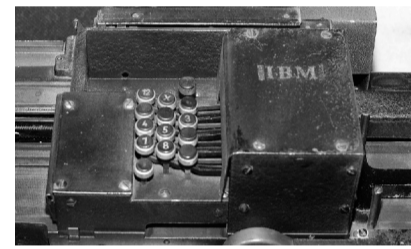
政府の「デジタルガバナメント実行計画」では、マイナ保険証を皮切りに、医療や介護、労働分野にとどまらず、運転免許証など各種資格から、果ては図書館の利用券まで、各種カード類の一体化を進め、最終的に、「唯一」の身分証明書としていく計画だ。

政府は、「マイナンバーカードを持っていけば、マイナンバー証明書や本人確認書類とただでなく、健康保険証として利用できる」と、コンビニで各種証明書が発行できる」と多くのメリットを強調するが、利用者にとってメリットがあるという事は、監視する側にとってはさらに利用しやすくなるのではなかろうか。国はなぜマイナンバーカードを普及させたがっているのか。かつて起こった悲劇の裏に大企業



ゲッソー(ヨーロッパ諸都市内でユダヤ人が強制的に住まわされた居住地区)から追い立てられるユダヤ人

ナチスドイツはユダヤ人絶滅計画を「最終的解決」と位置付けていた。そしてナチスのホロコースト(ナチスドイツがユダヤ人などに対して組織的に行なった大量虐殺)をシステム面で支えていたのがIBMであった事は有名な話である。



ホロコーストを支えたIBMのパンチカードマシン

IBMの歴史は電子計算機の開発の数十年前に始まる。IBMは人口調査の表を作成する会社として1898年にアメリカで創立され、創業者ハーマン・ホレリスが発明したパンチカード(厚手の紙に穴を開けて、その位置や有無から情報を記録する記録媒体)に穴を開けることで国籍、性別、職業など個人の特性を記録し、何百万というカードを即座に分類するシステムを開発した。

まだコンピュータがなかった時代に、ナチスはIBMが開発し、同社のドイツの子会社であるデホマク社が販売していたパンチカード機器「ホレリス」を使い、ドイツ国民の名前、住所、家系、銀行口

を「ナンバー12」などと区分していた。住民登録および資産登録だけではなく、パンチカードによる管理は他にも多数あった。例えば、食糧配布はデータベースに基づいて決められ、ユダヤ人だけを飢えさせることもできた。また収容所での強制労働もパンチカードによって確認、割振り、管理された。アウシュヴィツ(※)などの強制収容所では、また生存している労働者、死亡者、移送者など囚人の全ての情報がパンチマシンに常に打ち

込まれ、各地の収容所のホレリス担当部門は、毎日の集計を行ない、SS(親衛隊 経済管理本部やベルリンに打電していた。それによって絶えず変動している全収容所の囚人の数を把握し、必要な技術を持った労働者を選び出して、別の収容所や工場へと移送することができた。

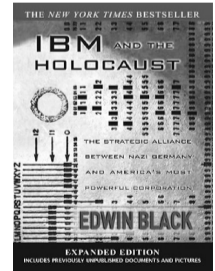
さらにパンチカードは列車を定刻通りに運行させたり、積み込まれた人間を登録したりすることも使われた。IBMの精密なホレリスシステムはナチス支配下のヨーロッパを走る大半の鉄道網を正確に運行させた。ヨーロッパ各地に日々、何両の貨車と機関車を配備すればよいかを知るには、ホレリスの計算能力が必要だった。パンチカードにより、全ての貨物車両の正確な位置、積載能力、可能な最大効率の運行スケジュールを把握することもできた。

ナチスによるユダヤ人大量虐殺という歴史的犯罪の始まりには、人々の登録があった。ユダヤ人をリストアップすることで、政府はどこに誰がいるかを把握し、個人々を狩り出し、追い立て、襲うことができた。ナチスのもとでエスカレートし続けた国家の暴力は、偶然起きたものではな。ホロコーストはまさに、登録、識別、移送のシステムによって可能になった、制度的な人種差別だったのだ。

IBMとホロコースト

2001年、エドウィン・ブラック氏が『IBMとホロコースト ナチスと手を組んだ大企業』という本を出版し、IBMのナチスへの協力が世界中に知れ渡るようになった。ブラック氏の両親はホロコーストを生き延びたユダヤ人である。

当時のドイツにとって、IBMの技術とソリュション(解決策)がなければ戦争の遂行は不可能だった。ブラック氏が「まさに人間につけられる19世紀のバーコード」と呼ぶこの



エドウィン・ブラック著『IBMとホロコースト ナチスと手を組んだ大企業』(2001年)。表紙の写真はナチスが使用したホレリス式パンチカード。

「IBMはドイツの子会社を通じ、ヒトラーの

企業が持つ社会的責任は

IBMが手を貸さなくとも、ホロコーストは起きていたかもしれないし、別の会社が似たような技術を提供したかもしれない。けれども、正確で迅速な識別技術によって、大量虐殺がつかないほど大規模で速やかに遂行されたことを、私たちは技術

歴史に学ばぬ民族は滅びる

現代では犯罪の未然防止と犯人検挙のために、街中に監視カメラが多数設置され、顔認証や指紋などの識別技術が公共の場で使われるようになってきた。顔認証などの技術を提供するのは、この

側には絶対的な「善」の側には立っている。IT企業がトップたちは一般的に、政府に進んで協力する。グーグルやフェイスブックといった名だたる企業が密かに政府のスパイ活動

ユダヤ人撲滅計画遂行に不可欠な技術面での特別任務を請け負い、恐ろしいほどの利益を上げた。IBMこそ現代の戦争に情報化という要素を持ち込み、ナチスの「電撃戦」をも可能にした張本人だ」とブラック氏は自著の中で述べている。

現在のドイツでは、連邦税務だけに使う納税者番号はあるが、全ての機関で統一された番号はなく、この番号を他の行政機関や民間企業などで利用する事は禁止されている。かつては「国民総背番号制度は人権侵害」とした違憲判決さえある。この背景にはナチスドイツ時代に国民が監視された事への反省から、公権力が個人を管理する番号制度には拒否感がある。

我々が歴史から何かを学ぶなら、顔認証だけでなく、幅広い監視と個人情報仕組みが整備されつつあるという事を決して忘れてはいけない。

※アウシュヴィツ強制収容所…第二次世界大戦中、ナチスドイツによって占領地のポーランドに建設された。ユダヤ人をはじめとする多くの人が捕虜として収容され、人種差別による強制労働および絶滅政策(大量虐殺)により多くの命が奪われた。犠牲者の数はヨーロッパ全土で600万人を超えるといわれる。

地域アンソニー・シエーシエーの芽(54)

京都大学名誉教授
国際経済労働研究所所長

本 山 美 彦

株価資本主義を克服する途(24)

音楽愛好家たちのDAO

DAO (Decentralized Autonomous Organization) は、それが依拠する基本的システムを開発した人や組織を「コントリビューター」(開発貢献者)と呼び、経営責任を委ねるという点で、参加者を「株主」に位置付けるという点で、経営者と被雇用者の区別をしないこと

対立するのではなく、そうした協同組合を真摯に支援しようとするために組織されたDAOもある。

DAOは、協同組合と対立しかねない。事実、前稿で触れたように、対立し



賀川記念館(神戸市中央区)

2018年、ニューヨーク



オースティン・ロビイ

「協同組合は、活動資

金を獲得する面で必ずしも成功しなかった。協同組合には資本家的リアリズムへの嫌悪がある。

「しかし、両者は相手の経験から学ぶべきである。ロビイは、米国に移民してきた人たちが差別と戦

いながら如何に集団で資金を工面してきたか、また、大恐慌以降に貧困者や黒人ヒスパニックたちが資金の相互融通組織を如何に作り上げてきたかの経緯を調べている人でもある。

上」を解決手段と位置付け、それを行なうための施設(セトルメント・ホール)を設置を呼びかけた。それは、世界最初のセトルメント・ホールとして実現した(ただし、死の翌年)。

労働者協同組合を苦しめていく必要がある。

に設立された「アンブルド」(Ampledd) 満たされるという意味)も協同組合をモデルにしたオンライン・ミュージック・プラットフォームである。これも音楽家を支援するために組織されたDAOである。登録された音楽家、支援者、アンブルドの職員の3つのグループからそれぞれ3人の役員が選ばれ、これら9人の合議制によって運営されている。アンブルドは、2020年、ニューヨーク州におけるコロナ禍による外出禁止令が出されたために、仕事の場を失った音楽家たちに、収益のすべてを寄付した。

アンブルドの協同創設者に、音楽家にして社会活動家でもあるオースティン・ロビイ(Austin Robey、1990年)という若手がいる。彼は、新古典学派を乗り越える経済学を模索しつつ、従来のオンライン経済よりも、もっと民主的で平等かつ幅の広い組織作りを助けている。ニュー・ミュージックを育成する「ニュー社」(New NC)のメンバーでもある。この組織は、「エクイタブル・プラットフォーム」(Equitable Platform)の員でもある。

彼は、「インターネット・オブ・ブローカーシップ」(Internet of Brokers)の員でもある。この経験を通して、集団所有形態をもっと大きくするには、DAOの方がむいていることに私は気付かされた。

「2つの領域に身を置いた経験を通して、集団所有形態をもっと大きくするには、DAOの方がむいていることに私は気付かされた。」

「この領域に身を置いた経験を通して、集団所有形態をもっと大きくするには、DAOの方がむいていることに私は気付かされた。」

「この領域に身を置いた経験を通して、集団所有形態をもっと大きくするには、DAOの方がむいていることに私は気付かされた。」

「この領域に身を置いた経験を通して、集団所有形態をもっと大きくするには、DAOの方がむいていることに私は気付かされた。」

「協同組合もDAOも、ともに集団所有であり全員の決定方式を採用しているが、両者には本質的な違いがある。原則として、協同組合は一人一票のガバナンスの下、金銭的に平等であり、一人一人が他の組合員よりも報酬を増やそうとはしない。DAOは、外見的にはそうしたガバナンスとは異なっているように見える。しかし、そうではない。ブロックチェーンの領域で確立した、自らを証明しなければならない」とするDAOのガバナンスは、一人一票の協同組合のガバナンスを補完し得るものである。

「このように多彩な活動をしているオースティン・ロビイの発言を以下に引用しよう。」

「プラットフォーム協同主義とDAOの両方に身を置いていることで、両者のそれぞれを知り自らの啓蒙度を高めてきたと私は信じている。」

「これら2つを融合させることで、実りの多い収穫をもたらす。」

「協同組合もDAOも、ともに集団所有であり全員の決定方式を採用しているが、両者には本質的な違いがある。原則として、協同組合は一人一票のガバナンスの下、金銭的に平等であり、一人一人が他の組合員よりも報酬を増やそうとはしない。DAOは、外見的にはそうしたガバナンスとは異なっているように見える。しかし、そうではない。ブロックチェーンの領域で確立した、自らを証明しなければならない」とするDAOのガバナンスは、一人一票の協同組合のガバナンスを補完し得るものである。

「このように多彩な活動をしているオースティン・ロビイの発言を以下に引用しよう。」

「これら2つを融合させることで、実りの多い収穫をもたらす。」

日本のセトルメント・ホール 隣保館



賀川豊彦

日本にも旧くから協同で資金を集めた講(こう)の組織がある。戦前には賀川豊彦(1888~1960年)たちが、神戸市の貧民街で「頼母子」(たのもし)講を大いに利用した。その思想を継いで、いまでも賀川記念館を拠点に貧民救済事業が行なわれている。

結核に加えて、信仰への懐疑に苦しんだ賀川豊彦は、「貧民問題を通じて、イエスの精神を発揮してみたい」と念発し、1909年、神戸市新川(しんかわ)のスラムに住み込み、路傍伝道を開始した。

賀川記念館は、この1909年の100周年に建設された。そして、1963年、「隣保館」(りんぼかん)としての認可を得た。隣保館とは、英語の「セトルメントハウス」の

日本語訳で、貧困・教育・差別・環境問題などにより世間一般と比較して劣悪な問題を抱えると思われる地域(スラムや同和地区など)において、その対策を講ずる事のできる専門知識を持つ者が常駐し、地域住民に対して適切な援助を行なう社会福祉施設を指す。

日本の隣保館の源流は、英国のセトルメントにある。「産業革命」という用語を広めた同国の経済学者で牧師でもあったアーノルド・トインビー(1852~1883年、同名の著名な歴史家トインビーの叔父)が、1880年代に入ってから、スラム地区の労働者貧困の問題に対して「労働者を取り巻く制度・環境の改良・整備」や「下位の労働階級への十分な教育の普及」及び「教育による労働者らの意識の向上」を解決手段と位置付け、それを行なうための施設(セトルメント・ホール)を設置を呼びかけた。それは、世界最初のセトルメント・ホールとして実現した(ただし、死の翌年)。



アーノルド・トインビー

社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三丁目六番三十一階
電話 (06) 4862-4022
FAX (06) 4862-4023

サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義 昭

〒651-1412 兵庫県西宮市山口町下山口六五十一
電話 (078) 904-1369
FAX (078) 904-1107

関連団体を支援する会 KU

関西生コン関連経営者会

上」を解決手段と位置付け、それを行なうための施設(セトルメント・ホール)を設置を呼びかけた。それは、世界最初のセトルメント・ホールとして実現した(ただし、死の翌年)。

労働者協同組合を苦しめていく必要がある。

登った先に夢がある 山村留学という選択



申込締切り 11/17(必着)

県立葛巻高校 入学生を全国から募集中

ミルクとワインとクリーンエネルギーの街で知られ、北上山地の大自然に囲まれた緑豊かな高原の街である岩手県葛巻町では、「くずまき山村留学生」として、全国から県立葛巻高等学校に入学者を募集している。申し込み締め切りは11月17日。

「くずまき山村留学」は通常の教育課程に加

え、希望に応じて自然体験や酪農体験など、くずまき高原牧場で実施される様々な体験活動に参加することができる。

親元を離れる山村留学は、生活そのものが学びと体験となる。また、多様な価値観や生き方に触れ、実社会との繋がりを体験する事で、自ら学ぶ意欲を高める。

まちづくり事業への参加のような、個性のある高校生の活動は、これからの町の活力となっていくだろう。

留学生受け入れの状況

平成27年度	1名	令和2年度	16名
平成28年度	2名	令和3年度	10名
平成29年度	3名	令和4年度	12名
平成30年度	3名	令和5年度	6名
令和1年度	11名		

くずまき山村留学のポイント

①進路決定率100%の葛巻高校

少人数教育を生かした2年次からのきめ細かいコース別学習(進学・就職)で進路決定率は100%。令和4年度は卒業生45人のうち、過去最多の17人が国公立大学へ進学した。

文化部では郷土芸能部が神楽甲子園に出場。運動部では陸上競技部がインターハイに出場経験があるなど優れた成績を残している。

②自立・協働・挑戦の場がある!

葛巻高等学校にほど近い、町総合運動公園の敷地内に寄宿舎あり。食事は毎日3食(登校時は給食)が提供され、生活はハウスマスターが見守る。仲間と共同生活を送ることで、自主性や協調性、規則正しい生活や公共のマナーを身に付けることができる。



寄宿舎へは葛巻高校から徒歩10分



寄宿舎 談話室

葛巻高校生は無料で通える公営学習塾(自学自習サポート)あり。塾講師が高校教員と連携して自習を支援。制服購入費用の一部を町が助成(男子生徒5万円、女子生徒6万円)。

また希望する生徒は、葛巻高校の部活動の他にまちづくり事業の一環として、くずまき型DMO(観光地域づくり法人)の「若者・高校生部会」に所属し、町の若者と共に葛巻町の課題を研究するなど、高校生の活躍の場が広がっている。

申し込み用紙等下記QRコードから



③充実した町の補助
寄宿舎にかかる費用は月額2万円(寄宿舎の管理費・水道光熱費・高校の給食費を含む3食の食事代込み)。

※葛巻町と組合総研の関わりは、第2回経営者セミナー(2008年)で中村哲雄前町長に講演を依頼した事に始まり、翌年には第5回歴史教育セミナーで大阪から40名が葛巻町を訪れた。以後交流が続いている。

大阪労働学校・アソシエ オンライン講座のお知らせ

大阪労働学校の講座で中核に位置を占める「労働講座」が、昨年度は諸般の事情で開講できませんでしたが、本年度は木下武男著『労働組合とは何か』をテキストに、著者自らが講師として、2回にわたってオンライン講座を開催します(第1回は9月9日に終了)。

第2回 10/14(土) 14:00~16:00
申し込み先 hide.saito1000@gmail.com

前日までにお申し込みください。オンライン(スカイプ)のURLと受講料のお支払方法をお送りいたします。受講料:500円(サポーター会員の方は無料)

※テキストの『労働組合とは何か』(岩波新書)は各自ご用意いただき、事前に一読いただければ幸いです。

頑張れ尾上部屋 城間が序ノ口全勝優勝

大相撲九月場所(東京・両国国技館)は、横綱不在の中、大関 貴景勝(常盤山部屋)が、11勝4敗で並んだ平幕の熱海富士(伊勢ヶ濱部屋)との優勝決定戦に勝利し、初場所以来4度目の優勝を果たした。

貴景勝は次の九州場所での綱とりがかかるが、1場所15日制が定着した1949年の夏場所以降、11勝4敗での優勝は3例しかなく、加えて貴景勝の場合は、名古屋場所を両ヒザの故障で全休した事も「減点材料」となりそう。



椿富士(左)を寄り切りで破る城間

序ノ口全勝優勝の城間「ほっとしました」

相撲を持ち味に白星を重ねた。

秋場所13日目の9月22日、序ノ口の城間(尾上部屋 沖繩県出身)は序二段の椿富士(伊勢ヶ濱部屋)を二気寄り切りで勝利し、7戦全勝で序ノ口優勝を果たした。

日大相撲部出身で、序ノ口デビューとなるはずだった夏場所(東京)は古傷で全休し、回復を待って名古屋場所の前相撲で初めて土俵に上がった。

東の序ノ口18枚目で臨んだ秋場所では、1メートル80センチ、170キロの体格を活かした右四つの

いくこと。一番一番、その日のことを考えていけば、いつの間にか上に行けると思っています。右四つが得意なので、どしどし構えて、つかまったら危ないと思われような力士を目指したい」と意気込みを話した。

スタートでつまずきもあつたが、大相撲力士としての大きな一歩を刻んだ。

後の成績が19勝2敗と抜群の強さを誇り、さらなる飛躍が期待される。

秋場所 尾上部屋力士成績

番付	四股名	成績
【幕下】		
東22枚目	北天海	☆4勝3敗
西59枚目	大海	☆4勝3敗
【三段目】		
東14枚目	穂高	2勝5敗
西45枚目	春山	☆6勝1敗
西86枚目	照寶	3勝4敗
【序二段】		
西2枚目	高馬山	☆6勝1敗
西3枚目	高倉山	2勝5敗
西21枚目	坂林	☆5勝2敗
西25枚目	九鬼王	☆4勝3敗
東29枚目	玄武丸	3勝4敗
東86枚目	富士の輝	3勝4敗
【序ノ口】		
東18枚目	城間	☆7勝0敗

※十一月場所(九州場所)の番付は10月30日に発表

提言

投稿歓迎

薄めても危険は減らず 汚染水(インゲンの証明) 防衛費伸び率、所得を上回る(怒りのブドウ球菌)

「汚染水」を「処理水」と言い換える政府の得意技。薄めて安全なら海洋放出しなくてもいいのでは?そもそも、なぜ汚染水が出る始末になったのかの議論はどうしたのでしょうか。国の防衛費は増え、生活の防衛費は減る一方で...